



2026年3月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年11月12日

上場会社名 トレーディア株式会社 上場取引所 東
コード番号 9365 URL
代表者 （役職名）代表取締役社長執行役員 （氏名）吉田 大介
問合せ先責任者 （役職名）執行役員財務本部長 （氏名）茨木 信弘 TEL 078-391-7170
半期報告書提出予定日 2025年11月13日 配当支払開始予定日 -
決算補足説明資料作成の有無：無
決算説明会開催の有無：無

（百万円未満切捨て）

1. 2026年3月期第2四半期（中間期）の連結業績（2025年4月1日～2025年9月30日）

（1）連結経営成績（累計）（％表示は、対前年中間期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2026年3月期中間期	8,223	0.5	151	39.8	372	75.9	271	84.3
2025年3月期中間期	8,181	7.2	108	26.4	211	1.4	147	△33.4

（注）包括利益 2026年3月期中間期 634百万円（986.2%） 2025年3月期中間期 58百万円（△87.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2026年3月期中間期	185.46	—
2025年3月期中間期	100.65	—

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2026年3月期中間期	12,147	5,211	42.9
2025年3月期	10,792	4,650	43.1

（参考）自己資本 2026年3月期中間期 5,211百万円 2025年3月期 4,650百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2025年3月期	—	—	—	50.00	50.00
2026年3月期	—	—			
2026年3月期（予想）			—	50.00	50.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2026年3月期の連結業績予想（2025年4月1日～2026年3月31日）

（％表示は、対前期増減率）

	営業収入		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,800	0.9	320	26.3	400	0.4	280	4.6	190.97

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当中間期における連結範囲の重要な変更：無

(2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P. 9「2. 中間連結財務諸表及び主な注記(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- | | |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更 | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| ④ 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2026年3月期中間期	1,470,000株	2025年3月期	1,470,000株
② 期末自己株式数	2026年3月期中間期	3,901株	2025年3月期	3,818株
③ 期中平均株式数(中間期)	2026年3月期中間期	1,466,141株	2025年3月期中間期	1,466,193株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料P. 3「1. 経営成績等の概況(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当中間期の経営成績の概況	2
(2) 当中間期の財政状態の概況	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 中間連結貸借対照表	4
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	6
中間連結損益計算書	6
中間連結包括利益計算書	7
(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(セグメント情報等の注記)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当中間期の経営成績の概況

当中間連結会計期間におけるわが国経済は、対米貿易の不確実性が後退したことや、インバウンド需要が引き続き堅調であったことなどから、小幅ながらも改善の動きが見られました。一方で、米中貿易摩擦、中国経済の減速、ウクライナ・中東情勢等の地政学的リスクもあり、世界経済が下振れする懸念も拭いきれておりません。

当社グループを取り巻く環境としては、輸出貨物の取扱量は米国の通商政策による混乱等の影響で、前年を下回って推移しました。輸入関連では、保管料収入は堅調でしたが、長引く物価高により、取扱量は前年を下回りました。国際物流網を担うコンテナ船による海上輸送においては、取扱量は前年を上回りましたが、運賃市況が下落傾向にあり、営業収入は前年同期並となりました。

当社グループはこのような状況下におきまして、顧客ニーズに柔軟に対応した積極的な営業展開に努めてまいりました結果、総取扱量は前年同期比1.2%減少しましたが、営業収入は前年同期比0.5%増の82億23百万円余(対前年同期41百万円余増)となりました。損益面につきましては、営業総利益は前年同期比14.5%増の5億69百万円余(対前年同期72百万円余増)となりました。営業損益は、一般管理費は増加したものの、前年同期比39.8%増の1億51百万円余の利益(対前年同期43百万円余増)、経常損益は、受取利息及び配当金と持分法による投資利益が大きく増加したことにより、前年同期比75.9%増の3億72百万円余の利益(対前年同期1億60百万円余増)となりました。その結果、親会社株主に帰属する中間純利益は、前年同期比84.3%増の2億71百万円余(対前年同期1億24百万円余増)となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①輸出部門

輸出部門におきましては、雑貨、機械製品の取扱いの減少が響き、取扱量は前年同期比で9.5%減となりました。また、自社倉庫での取扱量や取扱件数も前年同期比で減少しました。輸出部門の営業収入は前年同期比1.9%減の13億54百万円余(対前年同期25百万円余減)としたものの、コスト減少、適正料金の収受の効果により、セグメント利益22百万円余(前年同期はセグメント損失6百万円余)の計上となりました。

②輸入部門

輸入部門におきましては、機械製品や食料品が増加しましたが、雑貨の減少により取扱量は前年同期比で1.1%減となりました。取扱件数は前年同期比で微減でしたが、自社施設での保管料収入が大幅に増加したことから収益性が改善し、輸入部門の営業収入は前年同期比2.0%増の25億80百万円余(対前年同期50百万円余増)、セグメント利益20百万円余(前年同期はセグメント損失21百万円余)の計上となりました。

③国際部門

国際部門におきましては、輸出・輸入ともに取扱量は前年同期を上回って推移しましたが、運賃市況が下落傾向となり営業収入は前年同期並となりました。輸出では、前年同期に好調だった設備輸送、三国間貿易の取扱減がありましたが、中国および東南アジア向けの機械、建材、紙類を中心に集荷に注力し、取扱量は前年同期比7.5%増加しました。しかしながら、前年同期比で運賃の下落幅が大きく、取扱量増で補うには至らず、営業収入は前年同期比18.4%減となり収益性も低下しました。輸入では、運賃市況が下落傾向となったものの、猛暑の影響により夏物家電の取扱量が増加したことや、アパレル製品の持ち直し、医療製品や衛生関連品も堅調に推移した結果、取扱量は前年同期比2.2%増加しました。運賃の下落分を取扱量増で補い、営業収入は前年同期比6.2%増となり収益性も改善しました。結果、部門全体では、営業収入は前年同期比0.1%増の41億94百万円余(対前年同期3百万円余増)、輸出の収益性低下が影響し、セグメント利益は対前年同期比35.1%減の69百万円余(対前年同期37百万円余減)の計上となりました。

④倉庫部門

倉庫部門におきましては、営業収入は前年同様の27百万円余となりました。セグメント利益は前年同様の25百万円余の計上となりました。

⑤その他

船内荷役等の営業収入は前年同期比47.3%増の79百万円余となり、セグメント利益は前年同期比186.9%増の13百万円余の計上となりました。

(注) 上記のセグメントの営業収入には、セグメント間の内部営業収入13百万円余を含んでおります。

(2) 当中間期の財政状態の概況

当中間連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ13億55百万円余増加し、121億47百万円余となりました。流動資産は1億45百万円余減の37億76百万円余、固定資産は15億1百万円余増の83億71百万円余であります。流動資産減少の主な要因は、現金及び預金、立替金の減少等によるものであります。固定資産増加の主な要因は、建設仮勘定、投資有価証券の増加等によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末に比べ7億56百万円余増加し、48億5百万円余となりました。固定負債は、前連結会計年度末に比べ、38百万円余増加し21億30百万円余となりました。流動負債増加の主な要因は、短期借入金の増加等によるものであります。固定負債増加の主な要因は、長期借入金、役員退職慰労引当金は減少しましたが、繰延税金負債の増加等によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ5億61百万円余増加し、52億11百万円余となりました。純資産増加の主な要因は、その他有価証券評価差額金、利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2025年5月13日公表の通期の業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,125,965	1,068,335
受取手形、売掛金及び契約資産	1,630,792	1,638,130
立替金	1,009,619	952,106
その他	156,957	117,998
貸倒引当金	△1,895	△264
流動資産合計	3,921,439	3,776,306
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,236,868	1,206,865
機械装置及び運搬具(純額)	43,703	45,418
工具、器具及び備品(純額)	5,933	4,951
土地	1,781,656	1,781,656
リース資産(純額)	138,085	132,624
建設仮勘定	—	986,856
有形固定資産合計	3,206,247	4,158,372
無形固定資産		
借地権	34,560	34,560
その他	43,082	36,950
無形固定資産合計	77,642	71,510
投資その他の資産		
投資有価証券	2,177,823	2,746,459
差入保証金	774,814	795,491
退職給付に係る資産	21,519	41,810
その他	616,842	561,585
貸倒引当金	△4,265	△3,537
投資その他の資産合計	3,586,734	4,141,808
固定資産合計	6,870,624	8,371,691
資産合計	10,792,064	12,147,997

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2025年3月31日)	当中間連結会計期間 (2025年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	1,205,376	1,192,500
短期借入金	2,166,145	2,966,145
リース債務	51,579	48,101
未払法人税等	92,676	84,817
賞与引当金	235,152	238,524
その他	298,271	275,635
流動負債合計	4,049,201	4,805,724
固定負債		
長期借入金	1,495,825	1,412,752
リース債務	127,202	120,945
長期未払金	2,190	6,061
繰延税金負債	373,837	546,194
役員退職慰労引当金	80,434	31,938
その他	12,650	12,650
固定負債合計	2,092,140	2,130,543
負債合計	6,141,341	6,936,268
純資産の部		
株主資本		
資本金	735,000	735,000
資本剰余金	169,380	169,380
利益剰余金	2,900,794	3,099,406
自己株式	△6,970	△7,074
株主資本合計	3,798,204	3,996,713
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	905,598	1,272,012
為替換算調整勘定	40,227	27,916
退職給付に係る調整累計額	△93,307	△84,913
その他の包括利益累計額合計	852,517	1,215,016
純資産合計	4,650,722	5,211,729
負債純資産合計	10,792,064	12,147,997

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書
(中間連結損益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業収入	8,181,638	8,223,190
営業費用	7,684,389	7,653,820
営業総利益	497,249	569,369
一般管理費	388,756	417,738
営業利益	108,492	151,631
営業外収益		
受取利息及び配当金	80,184	178,468
持分法による投資利益	1,889	35,498
その他	51,520	46,980
営業外収益合計	133,594	260,947
営業外費用		
支払利息	29,812	39,849
その他	323	—
営業外費用合計	30,136	39,849
経常利益	211,950	372,728
特別利益		
固定資産売却益	2,699	381
特別利益合計	2,699	381
特別損失		
固定資産除売却損	988	0
リース解約損	3,552	5,031
特別損失合計	4,540	5,031
税金等調整前中間純利益	210,109	368,079
法人税等	62,529	96,158
中間純利益	147,580	271,921
非支配株主に帰属する中間純利益	—	—
親会社株主に帰属する中間純利益	147,580	271,921

(中間連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
中間純利益	147,580	271,921
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△106,434	366,414
退職給付に係る調整額	914	8,394
持分法適用会社に対する持分相当額	16,346	△12,310
その他の包括利益合計	△89,173	362,498
中間包括利益	58,406	634,419
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	58,406	634,419
非支配株主に係る中間包括利益	—	—

(3) 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位: 千円)

	前中間連結会計期間 (自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)	当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前中間純利益	210,109	368,079
減価償却費	68,234	87,333
退職給付に係る資産の増減額 (△は増加)	△18,865	△8,036
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△616	△2,358
受取利息及び受取配当金	△80,184	△178,468
支払利息	29,812	39,849
持分法による投資損益 (△は益)	△1,889	△35,498
有形固定資産除売却損益 (△は益)	△1,711	△381
その他の損益 (△は益)	△2,387	2,846
賞与引当金の増減額 (△は減少)	4,342	3,372
営業債権の増減額 (△は増加)	△201,614	△6,610
立替金の増減額 (△は増加)	△40,518	57,512
その他の資産の増減額 (△は増加)	△26,162	15,172
営業債務の増減額 (△は減少)	135,080	△12,876
前受金の増減額 (△は減少)	66,646	△58,689
その他の負債の増減額 (△は減少)	△35,293	△8,821
小計	104,982	262,425
利息及び配当金の受取額	80,184	190,660
利息の支払額	△45,739	△35,558
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	31,847	△104,380
営業活動によるキャッシュ・フロー	171,274	313,148
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△258,448	△1,021,682
有形固定資産の売却による収入	3,085	382
無形固定資産の取得による支出	△1,650	△814
投資有価証券の取得による支出	△2,009	△2,217
貸付金の回収による収入	3,000	3,000
その他の収入	6,025	60,402
その他の支出	△9,994	△26,787
投資活動によるキャッシュ・フロー	△259,991	△987,717
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△200,000	800,000
長期借入金の返済による支出	△83,167	△83,072
配当金の支払額	△73,310	△73,309
その他の支出	△20,909	△26,678
財務活動によるキャッシュ・フロー	△377,387	616,939
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△466,104	△57,630
現金及び現金同等物の期首残高	1,304,219	1,125,965
現金及び現金同等物の中間期末残高	838,115	1,068,335

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

該当事項はありません。

(中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

当中間連結会計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)	
税金費用の計算	税金費用につきましては、当中間連結会計期間を含む連結会計年度の税金等調整前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税金等調整前中間純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。また、見積実効税率を使用できない場合は、税金等調整前中間純利益に一時差異に該当しない重要な差異を加減した上で、法定実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

Ⅰ 前中間連結会計期間(自 2024年4月1日 至 2024年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	1,380,042	2,530,456	4,191,216	27,000	52,922	8,181,638	—	8,181,638
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	1,320	1,320	△1,320	—
計	1,380,042	2,530,456	4,191,216	27,000	54,242	8,182,958	△1,320	8,181,638
セグメント利益又は損失(△)	△6,928	△21,786	106,557	25,902	4,747	108,492	—	108,492

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△1,320千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益又は損失(△)の合計は、中間連結損益計算書の営業利益であります。

Ⅱ 当中間連結会計期間(自 2025年4月1日 至 2025年9月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収入及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位: 千円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	中間連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	輸出	輸入	国際	倉庫				
営業収入								
外部顧客への営業収入	1,354,508	2,580,850	4,194,724	27,000	66,107	8,223,190	—	8,223,190
セグメント間の内部営業収入又は振替高	—	—	—	—	13,800	13,800	△13,800	—
計	1,354,508	2,580,850	4,194,724	27,000	79,907	8,236,990	△13,800	8,223,190
セグメント利益	22,365	20,602	69,105	25,936	13,620	151,631	—	151,631

(注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、船内荷役、その他の事業を含んでおります。

2. 調整額△13,800千円は、セグメント間取引消去額であります。

3. セグメント利益の合計は、中間連結損益計算書の営業利益であります。